

## VYCROSS® コレクション

肌質を改善  
したいときに<sup>4,4,45,46</sup>

※顔面および頸部



ジュビダームビスタ®  
ボライト XC

NEW

唇をなめらかに  
したいときに<sup>1,5</sup>



ジュビダームビスタ®  
ボルベラ XC

顔のしわや溝を  
改善したいときに<sup>2</sup>



ジュビダームビスタ®  
ポリフト XC

こめかみや中顔面の  
ボリュームアップを  
したいときに<sup>3,6,7</sup>



ジュビダームビスタ®  
ボリューマ XC

顔の輪郭形成を  
したいときに<sup>4,8,9</sup>



ジュビダームビスタ®  
ボラックス XC

製品名と主剤

ジュビダームビスタ® ボライト XC  
ヒアルロン酸12mg/mL、リドカイン塩酸塩0.3%配合<sup>1,4</sup>

ジュビダームビスタ® ボルベラ XC  
ヒアルロン酸15mg/mL、リドカイン0.3%配合<sup>1</sup>

ジュビダームビスタ® ポリフト XC  
ヒアルロン酸17.5mg/mL、リドカイン0.3%配合<sup>2</sup>

ジュビダームビスタ® ボリューマ XC  
ヒアルロン酸20mg/mL、リドカイン0.3%配合<sup>3</sup>

ジュビダームビスタ® ボラックス XC  
ヒアルロン酸 25mg/mL、リドカイン 0.3%配合<sup>4</sup>

使用部位

頬、額、頸部

口唇、ティアトラフ、小皺

ほうれい線、マリオネットライン、口まわり、  
アイブロー

こめかみ、頬および頬骨

顎、フェイスライン(ジョーライン)

注入層

皮内<sup>44</sup>

骨膜上、皮下、真皮<sup>1</sup>

真皮<sup>2</sup>

骨膜上、皮下<sup>3</sup>

骨膜上、皮下<sup>4</sup>

持続効果期間/注射針

9ヵ月間(保水性改善)  
4ヵ月間(小じわ改善)  
の持続効果<sup>44</sup>

9

12ヵ月間の  
持続効果<sup>1</sup>

12

18ヵ月間の  
持続効果<sup>2</sup>

18

24ヵ月間の  
持続効果<sup>3</sup>

24

18ヵ月以上の  
持続効果<sup>4</sup>

18



2 x 1 mL, 4 x 30 G<sup>1/2</sup><sup>44</sup>



2 x 1 mL, 4 x 30 G<sup>1/2</sup><sup>1</sup>



2 x 1 mL, 4 x 30 G<sup>1/2</sup><sup>2</sup>



2 x 1 mL, 4 x 27 G<sup>1/2</sup><sup>3</sup>



2 x 1 mL, 4 x 27 G<sup>1/2</sup><sup>4</sup>

製品コード

医療機器承認番号:30200BZX00389000

医療機器承認番号:23000BZX00331000

医療機器承認番号:23000BZX00159000

医療機器承認番号:22800BZX00338000

医療機器承認番号:30200BZX00254000

## VYCROSS® コレクションの特性

	12	15	17.5
ヒアルロン酸濃度 (mg/mL) リドカイン 0.3% 配合 <sup>1,4</sup>	△△△	△△△△	△△△△△
押出力 (N) 50 mm/minの場合 <sup>21*</sup>	19.7 (3001/27 コーポス)	13.8 (3001/27 コーポス)	18.6 (3001/27 コーポス)
凝集性 (重量ゲラム [gm]) <sup>18,1</sup>	12	18	24
弾性 (5 Hzでの G' [パスカル [Pa]]) <sup>18,1</sup>	166	274	317
リフト力 <sup>22</sup>			

	20	25
ヒアルロン酸濃度 (mg/mL) リドカイン 0.3% 配合 <sup>1,4</sup>	△△△△	△△△△△
押出力 (N) 50 mm/minの場合 <sup>21*</sup>	15.8 (2701/27 コーポス)	16.5 (2701/27 コーポス)
凝集性 (重量ゲラム [gm]) <sup>18,1</sup>	35	93
弾性 (5 Hzでの G' [パスカル [Pa]]) <sup>18,1</sup>	353	665
リフト力 <sup>22</sup>		

\* 50mm/minの固定速度で注入された場合、20 N未満の押出力は「低い」と分類されます。ゲルの押出力は、注入時に加えられた力に対する物理的反応を示す特徴であり、個別の臨床成績ととらえるべきではありません<sup>4</sup>。

† ゲルの流動学的性質は、in vitroでに加えられた力に対する物理的反応を示す特徴であり、個別の臨床成績ととらえるべきではありません<sup>18</sup>。